

学校評価

1 本年度の学校評価

本年度の重点目標	校訓「百練自得」のもと、知・徳・体の調和のとれた青少年を育成する。 — 「通いたい、通わせたい、通ってよかったと思える学校」づくり —		
項目(担当)	重点項目	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T Aとのさらなる温かいコミュニケーションを図る。 ・ 式典の厳粛な進行を継続させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会・委員会で、役員・委員の意見交換の場を設ける。 ・ 式典に臨む態度を全職員が協力し向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会等の連絡が早めに保護者に届くように余裕を持って準備する。 ・ 職員がなるべく早く体育館に出向き、生徒の様子を観察する。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の定着（1，2年生は週20時間、3年生は週30時間以上）と生徒の学力向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習時間調査結果の有効的な活用 ・ 考査欠点科目数、平均点などの統計資料の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年会と協力して、学習時間調査結果データを分析し、生徒に還元する。 ・ 各教科会で生徒の学力向上について検討し、実践する。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーを向上させる。 ・ 活力ある学校生活を送るために、生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの命は自分で守るための啓発活動と、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・ 身だしなみ指導日と日常の声かけ指導の両面から意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを守ることができない生徒が出てきた場合は、自転車通学の禁止も視野に入れて指導をおこなう。 ・ 身だしなみ指導の具体的基準について、職員間で今一度基準の見直しと徹底を確認する。また、生徒への声かけを、全職員が同じ意識のもと実施できる流れを確立していきたい。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の観点を持った進路指導を行う。 ・ 3年間を見通し、生徒にとってより有意義な進路指導の体制を整備する。 ・ 学年団と連携のとれた進路指導の体制を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「職業ガイダンス」、「学出張講義」などの時を利用し、生徒の勤労や進路意識の向上を図る。 ・ 進路に関する情報を教員にも積極的に提供し、検討会など、進路について理解を深める場を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ L Tおよび総合的な学習の時間と連携し、将来にわたって、自ら学ぶ姿勢を持った生徒を育成するための効果的な方法を検討する。 ・ 「進路だより」の発行や進路資料室の掲示物などで、進路情報を知らせる。 ・ 職員に、進路に関する情報を提供し、進路指導の方法を共有できるように啓発を行う。 ・ 新旧担任情報交換会や検討会などの内容を充実させる。学力テストの成績分析を行う。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に対する意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「保健だより」を用いる。 ・ 「文化の集い」の委員会活動で健康に関する発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と連携して健康増進の意識を高める。 ・ 学校全体で健康に対する意識を向上させる。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校紹介の充実 ・ 図書館利用の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内の作成、およびホームページを利用して、定期的に学校情報を発信する。 ・ 図書館情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内を一新し、中学生及び保護者に向けて学校情報を発信する。 ・ 部活動、行事などの情報をホームページより定期的に発信する。 ・ 積極的に図書を紹介を行う。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体が活気溢れる行事の企画運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動をより活性化する。 ・ 学校行事の質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分掌から学校全体への情報発信、全職員への役割分担の整理と円滑な運営をし、学校全体で行事に取り組む雰囲気作りをする。 ・ 部活動への側面支援と指導、部顧問との連携協力を図る。 ・ 生徒主体で活動する機会の増加を図る。
学校関係者評価を実施する項目 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導、進学指導の充実状況について。 ・ 学校行事、部活動の充実状況について。 ・ 本校に期待することについて。 	

2 前年度の学校評価
ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	校訓「百練自得」のもと、知・徳・体の調和のとれた青少年を育成する。 — 「行きたい、行かせたい、来てよかった学校」づくり —		
項目(担当)	重点項目	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A・同窓会とのコミュニケーションを図る。 ・ 開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会、P T Aとの連携を図り内容の充実。 ・ ホームページを利用した広報活動を活発化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A関係行事への参加率は昨年度に比べ約1.5倍になった。 ・ 来年度以降も「ひなの」「韻」をとおして、さらなる情報発信をめざしたい。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援システムを活用し、新しい成績処理システムを導入する。 ・ 生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすく、間違いが起りにくい方法を検討する。 ・ 学習時間調査や考査の統計資料を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の反省をもとに、マニュアルなどを検討し、わかりやすく説明することができた。 ・ 特に2年生についてはおおむね達成できたのではないと思われる。他の学年については達成された部分とそうでない部分が入り交じっている状況であった。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーを向上をさせる。 ・ 活力ある学校生活を送るために、生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの命は自分で守るための啓発活動と、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・ 身だしなみ指導日と日常の声かけ指導の両面から意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通マナーで本校職員に注意を受けた生徒は多く、並進走行、斜め横断、右側通行の禁止など安全に対する意識向上は未だ課題である。 ・ 全体的に身だしなみしっかりしているが、制服のしっかりした着こなしが必要な生徒が集まる場面、職員室への入室など、各自の意識向上はまだ足りない。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の観点を持ち、生徒に進路意識をもたせる。 ・ 3年間を通した進路指導体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業ガイダンス、大学出張講義、総合的な学習の時間を利用し、勤労観や進路意識の向上を図る。 ・ 進路に関する情報を随時提供し検討会等で進路について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は職業ガイダンスを通し、将来のことを考えようとする兆しが見えるようになった。 ・ 2年生は大学の先生による出張講義を聞き、進路意識が向上した。 ・ 3年生は社会人講話を聞き、進路だよりを読み、前向きに将来を考えるようになった。 ・ 教員間の進学に対する意識が高まった。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種検診、検査調査結果の活用。 ・ 校内美化に全校体制で取り組む。 ・ 教育相談の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の健康づくりに活用する。 ・ 生徒の環境美化意識を向上させる。 ・ 生徒支援活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「保健だより」、「学校保健委員会」などを通して健康意識を高めることができた。 ・ 検診時だけではなく、日常生活の中においても事故の健康に対して意識させたい。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校紹介の充実。 ・ 図書館利用の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、学校案内による学校情報の発信。 ・ 積極的に本の紹介を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的にホームページの更新を行ったが、来年度は一層情報を発信していきたい。 ・ 図書の貸し出し数は年間で1290冊であり、年間1500冊を目標に働きかけをしていきたい。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体が活気溢れる行事の企画運営。 ・ 部活動の活性化。 ・ 生徒会活動の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の充実感・達成感。 ・ 参加生徒数、大会結果。 ・ 役員が主導する会議の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会、東海大会、県大会などの上位大会に非常に多くの部活動が出場できた。 ・ 生徒会執行部を中心にベルマーク集めをして、福祉施設に寄付をすることができた。今後も継続していきたい。
総合評価		各分掌とも、重点目標の達成に向けてよく努力した。進学実績が向上するとともに、14の部活動が県大会以上の成績を収めることができた。学業と部活動の両立させた生徒が多く、学校全体に活気があった。しかし、学校生活に適應できない生徒への対応や、交通マナー指導に課題を残している。	

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、進学指導の充実状況について ・学校行事、部活動の充実状況について ・生徒の規範意識の高揚について
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒や保護者の要望として、また進学校として「国公立大学合格者数 100 名以上を目指す」ことが、本校としての一つの目標であり使命である。今年度もその目標を達成することができた。 ・全体としては生徒の出席、遅刻状況は極めて良い状況だが、一部生徒が学校生活に適応できなかった。基本的な生活習慣の確立を更に推し進めていきたい。 ・「開かれた学校づくり」を目指す上でも、HP の更新を頻繁に行い、学校行事の報告や部活動の試合結果等、学校の情報公開に努めた。 ・自転車通学者の交通事故や交通マナーについての地域住民からのご指摘がまだまだ多く、更なる指導が必要とされる。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートから「本校に期待する項目」として、「わかりやすい授業」「学力向上」「進路指導の充実」が例年上位を占める。このアンケート結果を全職員が共有し、高い意識を持って日々の授業に取り組むことが必要である。 ・文部科学省の教育課程研究指定事業の「論理的思考力と表現力の育成を目指した各教科における指導と評価の工夫改善」についての研究も 2 年目を迎え、各教科が教科全体で指導法や評価基準の研究に取り組むとともに、全校体制で授業改善に取り組んでいきたい。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を起こさないためにも交通安全指導を続けて欲しい。 ・職業ガイダンスの講師や授業参観を通じて、活気のある授業を見ることができた。 ・部活動がよく頑張っている。 ・美化活動やボランティア活動等の地域と密着した活動を充実させることで地域から信頼される学校になると考える。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員 4 名（保護者代表を含む） ・評価時期・・・2 月下旬